

平成29年3月期 決算説明会

英知をつなげる エレクトロニクス株式会社

平成29年5月9日

ヒロセ電機株式会社

注意事項

本資料には、ヒロセ電機の現時点における予測に基づく記述が含まれています。

これら将来に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性その他の要因が内在しており、当社における実際の業績と異なる恐れがあります。ご承知おき下さい。

H28年度のビジネス概況

〔H28年度第1四半期(4月～6月)〕

スマートフォン市場向け受注は、中国市場向け等が予想をやや上回り、順調に推移した。自動車市場向けは安定して推移。産機市場向け売上は今期前半が弱かったが、後半より上向き傾向となった。

〔H28年度第2四半期(7月～9月)〕

全体売上では1Q対比で増加。スマートフォン市場向けは中国市場向け等を中心に好調に推移。自動車市場向けは海外向けは低調だったものの、国内向けは好調。産機市場向けは若干のプラスとなった

〔H28年度第3四半期(10月～12月)〕

自動車・産機市場向けは堅調に推移したが、スマートフォン市場向け売上は対H28年度第2四半期比で約20%減、全体売上も減少となった

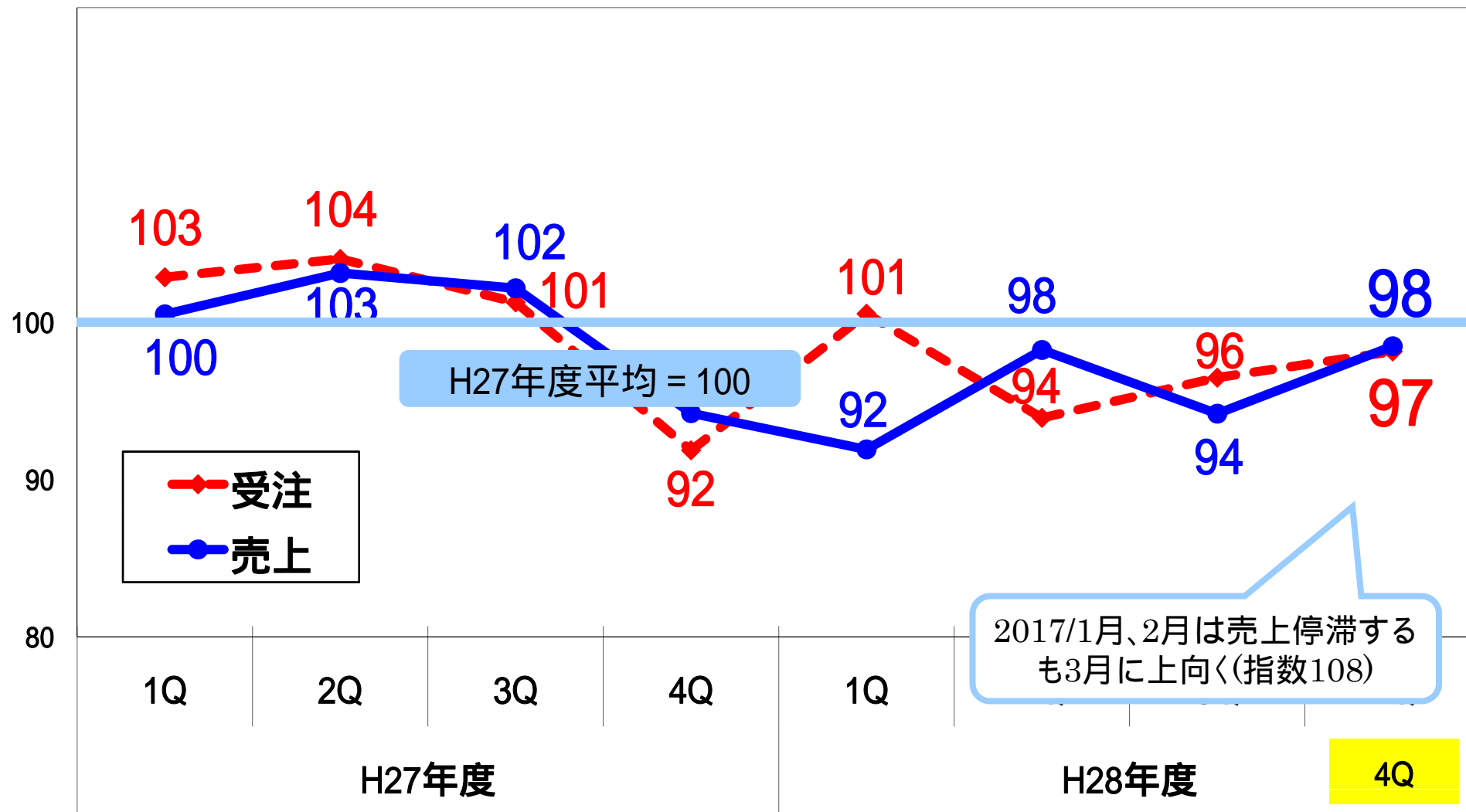
〔H28年度第4四半期(1月～3月)〕

自動車市場向けは堅調に推移。スマートフォン向けは第3四半期比で微増となった。産機市場向けはFA関連機器向け好調中心により、全体も堅調に推移した。

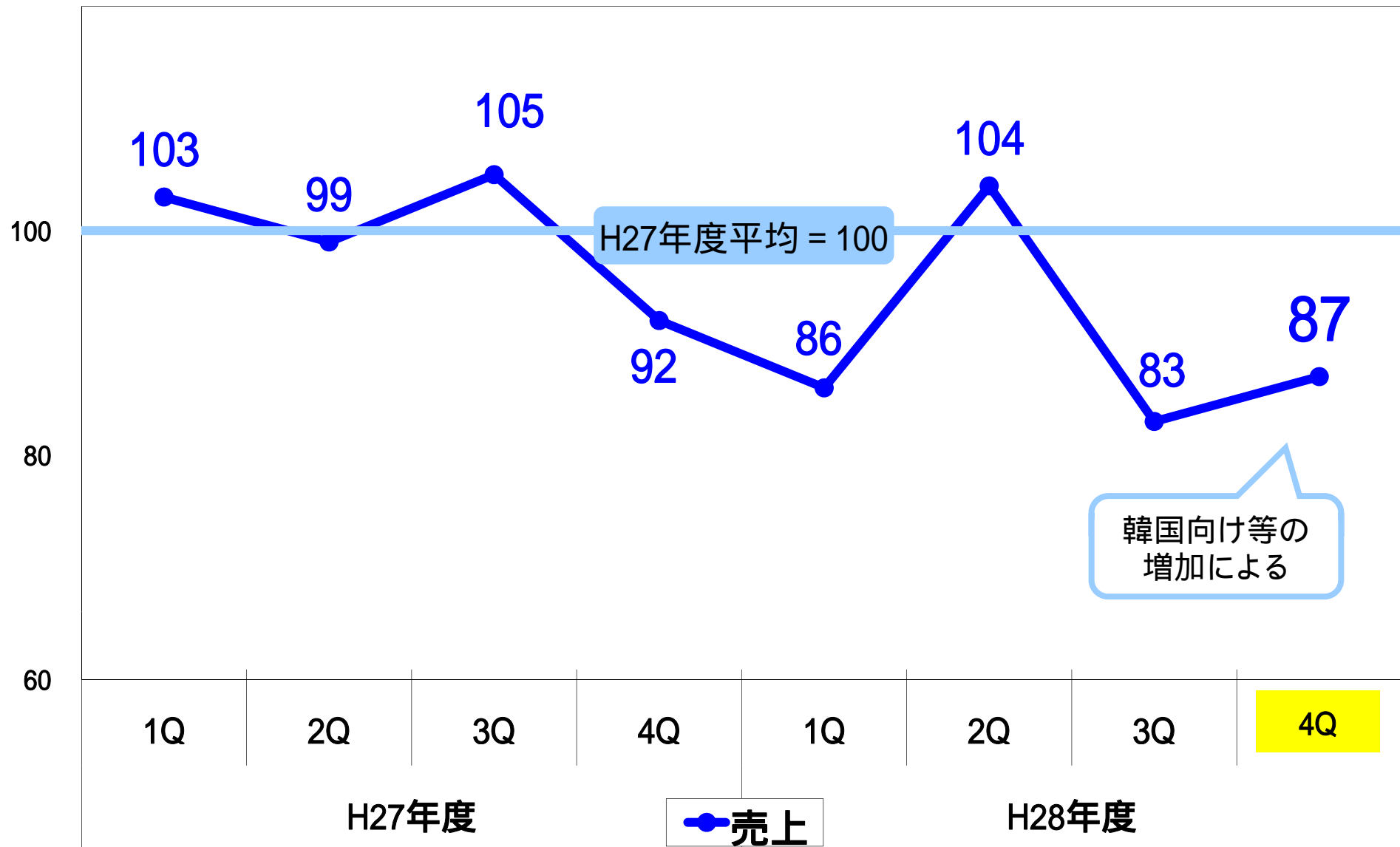
〔H28年度累計(4月～3月)〕

H28年度累計受注 1,166.4億円(対前年同期比 -3.0%)、売上 1,151.0億円(対前年同期比 -4.3%)、経常利益 298.0億円(利益率 25.9%、対前年同期比 -2.3%)。

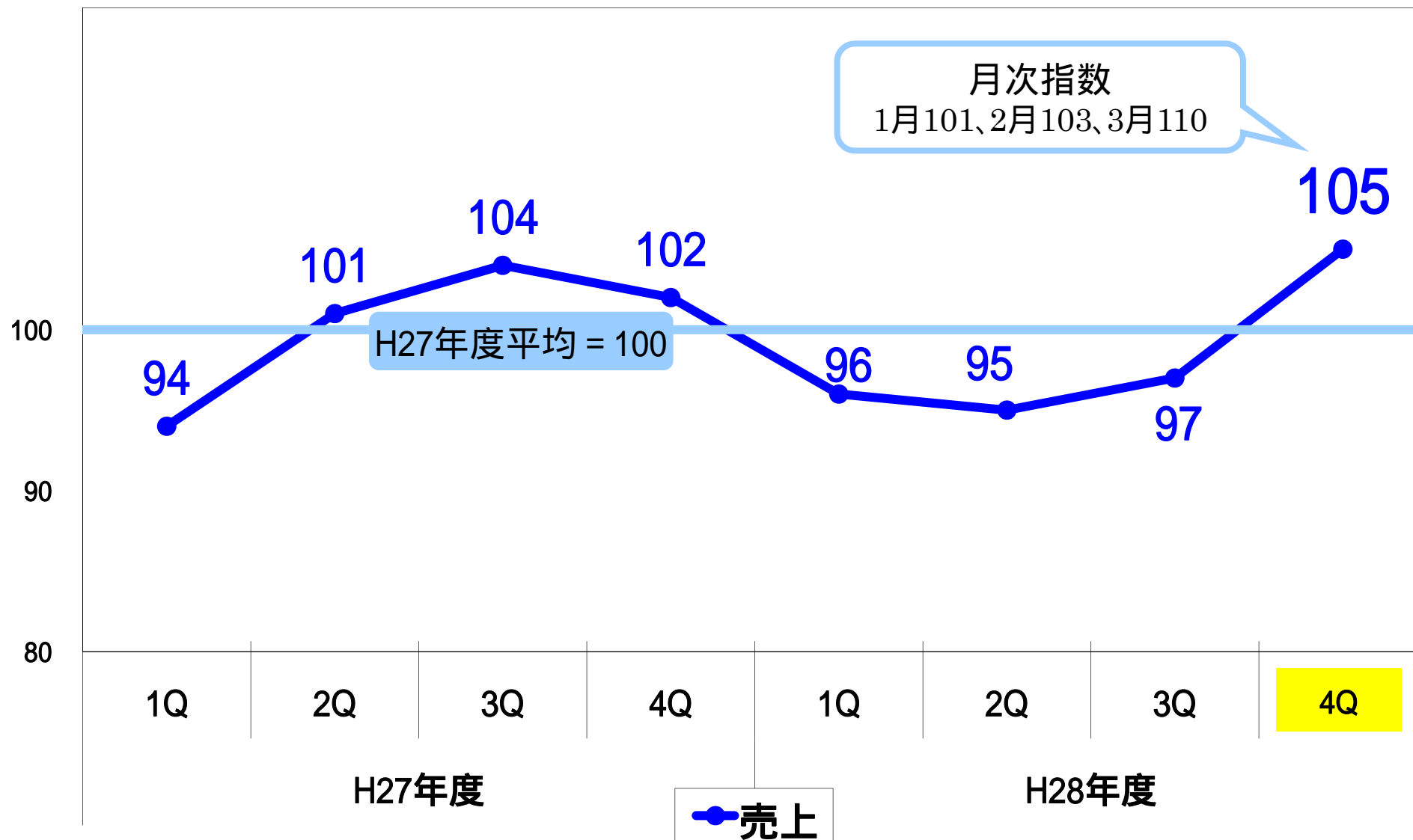
全体



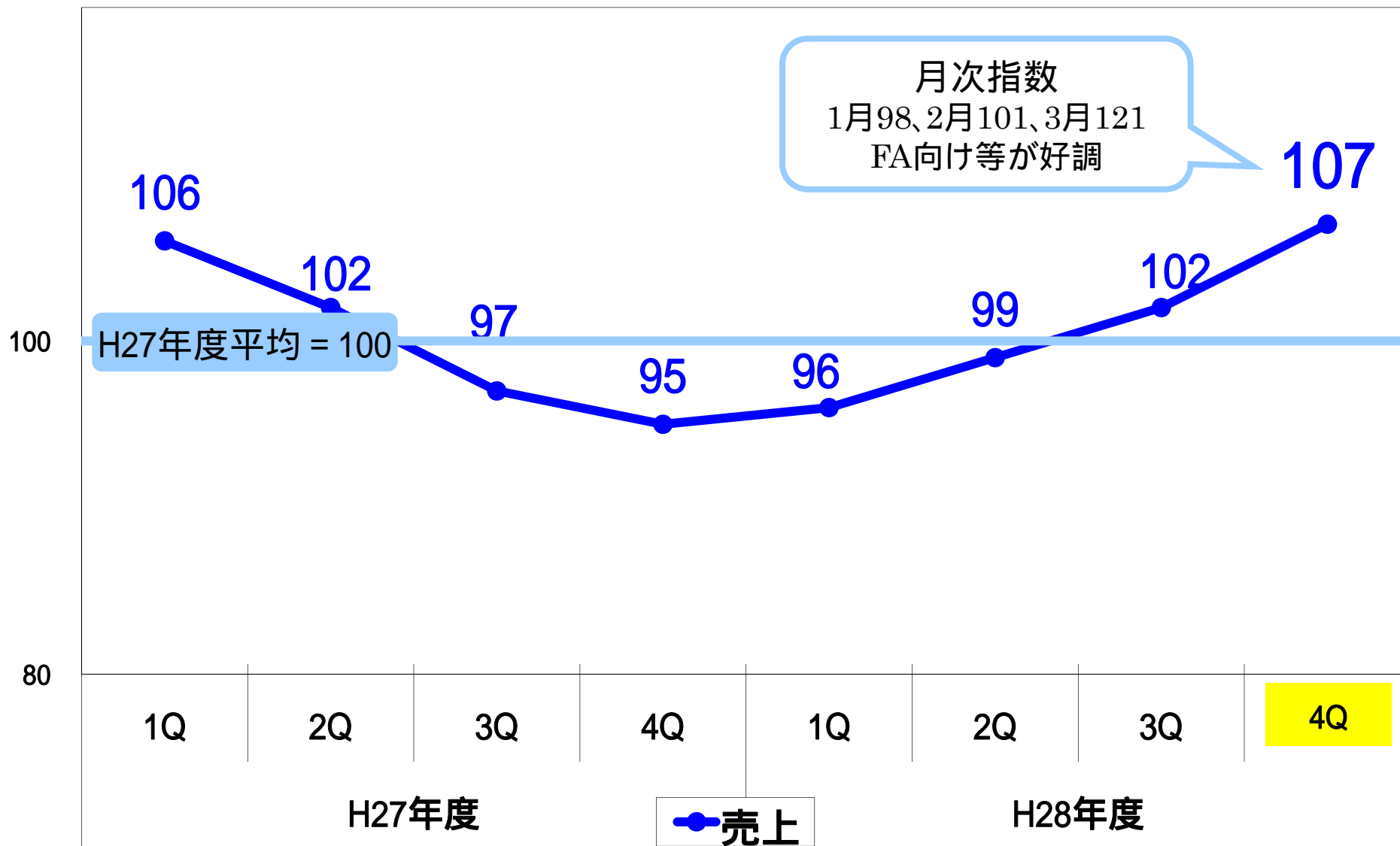
スマートフォン・携帯電話



自動車



一般産機 (電子応用、FA制御、その他)



H28年度 連結決算概要

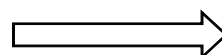
注) 緑色斜体数値・・・H29/1公表数値

(金額単位: 億円)

	(A) H27年度 (H28/3月期)	(B) H28年度 (H29/3月期)	(B) - (A)	(B) / (A)
売上高 (売上原価率) (販売・管理費比率)	1,202.8 (54.7%) (21.3%)	1,151.0 (53.1%) (22.2%)	-51.8 (-1.6%) (+0.9%)	-4.3%
営業利益 (%)	287.9 23.9%	284.8 24.7%	-3.1 (+0.8%)	-1.1%
経常利益 (%)	305.2 25.4%	298.0 25.9%	-7.2 (+0.5%)	-2.3%
当期利益 (%)	211.0 17.5%	213.6 18.6%	2.6 (+0.9%)	1.2%
総資産残高	3,165.9	3,269.9	104.0	3.3%
自己資本比率	90.2%	90.5%		
一株当り当期利益	596.3円	611.8円		
一株当り配当	240円	240円		
連結配当性向	40.2%	39.2%		

対前年同期主要増減	
[売上高]	51.8億円減
比単体	子会社
-13.8億円	-38.0億円
[売上原価率]	1.6 ^o 引良化
仕入原価費率	38.1% 38.5%
減価償却費率	7.0% 5.0%
労務費率	5.6% 5.5%
[販売・管理費比率]	0.9 ^o 引悪化
費用減(-1.3億) なるも売上減の為	
[営業外損益]	
為替差損益	+2.3億円 -2.1億円
減価償却方法変更(定率法 定額法)及び一部耐用年数変更に伴う営業利益・経常利益影響額(損益増加額)	34.1億円

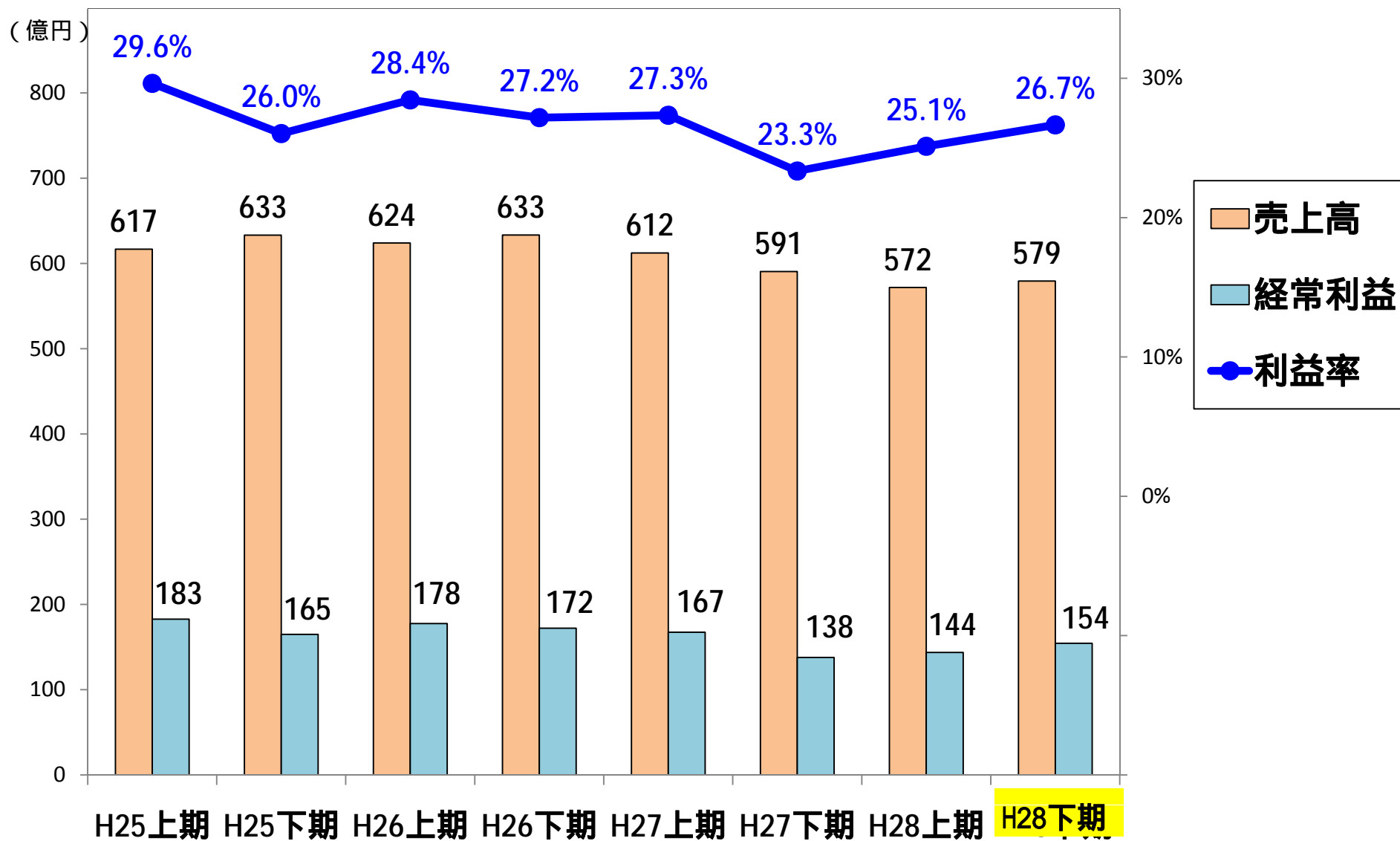
為替レート: US\$	120.14円	108.38円
為替レート: €	132.58円	118.79円
為替レート: 100ウォン	10.42円	9.45円



(単位: 億円)

対前年同期為替影響額	
売上高	-91.0
営業利益	-50.2
経常利益	-56.0

半期別 売上高・利益 推移



連結貸借対照表主要増減

(億円)

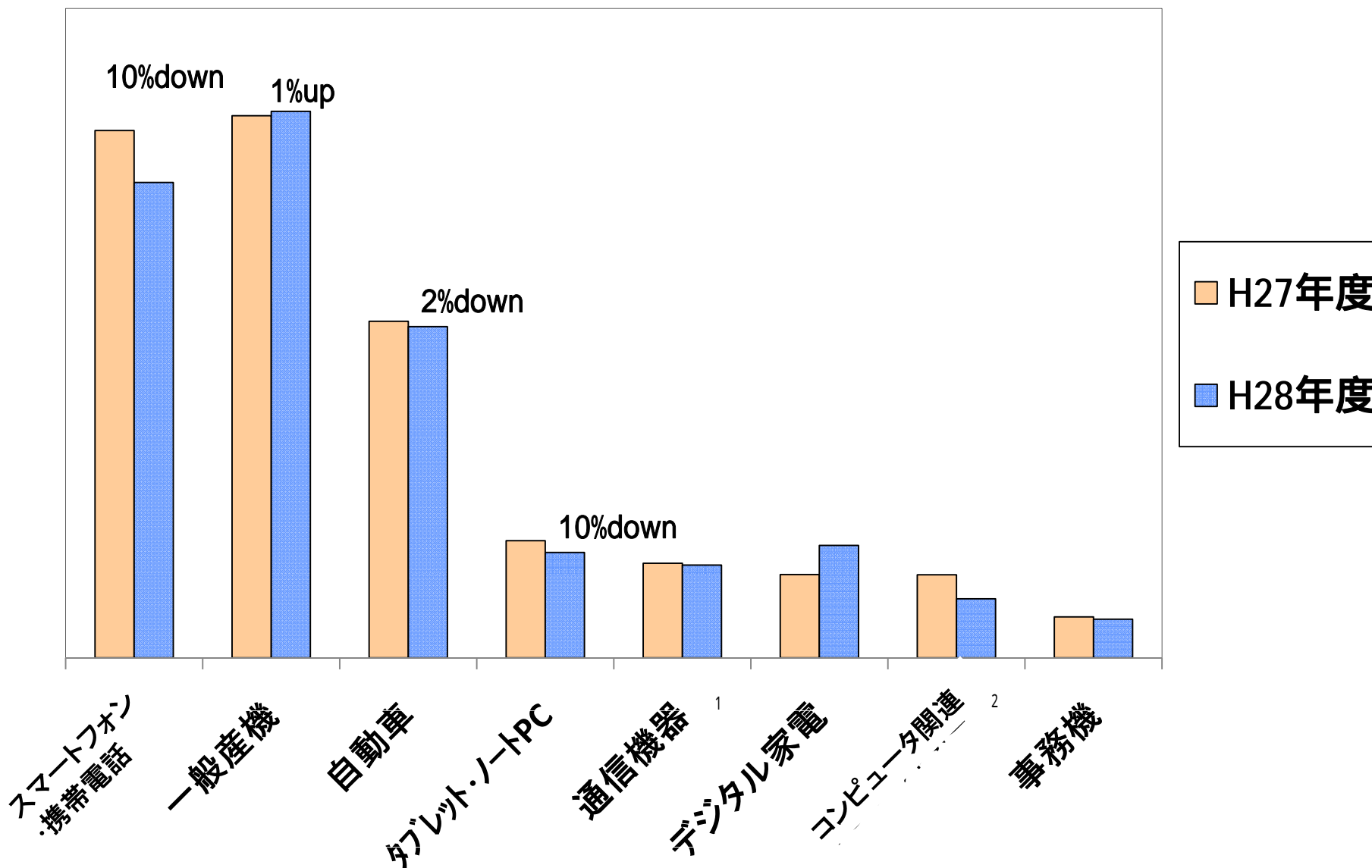
区分	科目	(A) H28/3末	(B) H29/3末	(B) - (A)	備考
資 産	現金及び預金	1,647.5	1,852.5	205.0	国債償還等に伴う増
	受取手形及び 売掛金	273.4	284.9	11.5	2017/3月売上高増に伴う増加
	有価証券	272.1	218.9	-53.2	国債償還等に伴う減
	棚卸資産	81.5	88.9	7.4	
	固定資産	380.4	455.9	75.5	機械装置・金型等増
	投資有価証券	358.7	264.5	-94.2	有価証券(短期)へ振替等
	その他	152.3	101.4	-50.9	
	合計	3,165.9	3,267.0	101.1	

連結貸借対照表主要増減

(億円)

区分	科目	(A) H28/3末	(B) H29/3末	(B) - (A)	備考
負債	支払手形及び買掛金	112.4	113.9	1.5	
	未払法人税	38.8	37.6	-1.2	納税による
	その他	156.4	152.5	-3.9	
		307.6	304.0	-3.6	
純資産	利益剰余金	3,085.3	3,214.9	129.6	当期純利益213.5億円-配当83.9億円
	自己株式	-564.5	-589.0	-24.5	自己株取得 20万株
	その他有価証券	73.4	73.7	0.3	
	評価差額金				
	為替換算調整勘定	56.9	53.1	-3.8	円高影響による
その他	207.2	210.3	3.1		
	合計	2,858.3	2,963.0	104.7	
負債及び純資産合計		3,165.9	3,267.0	101.1	

コネクタ用途別売上 前年比較 (概数) (連結ベース)

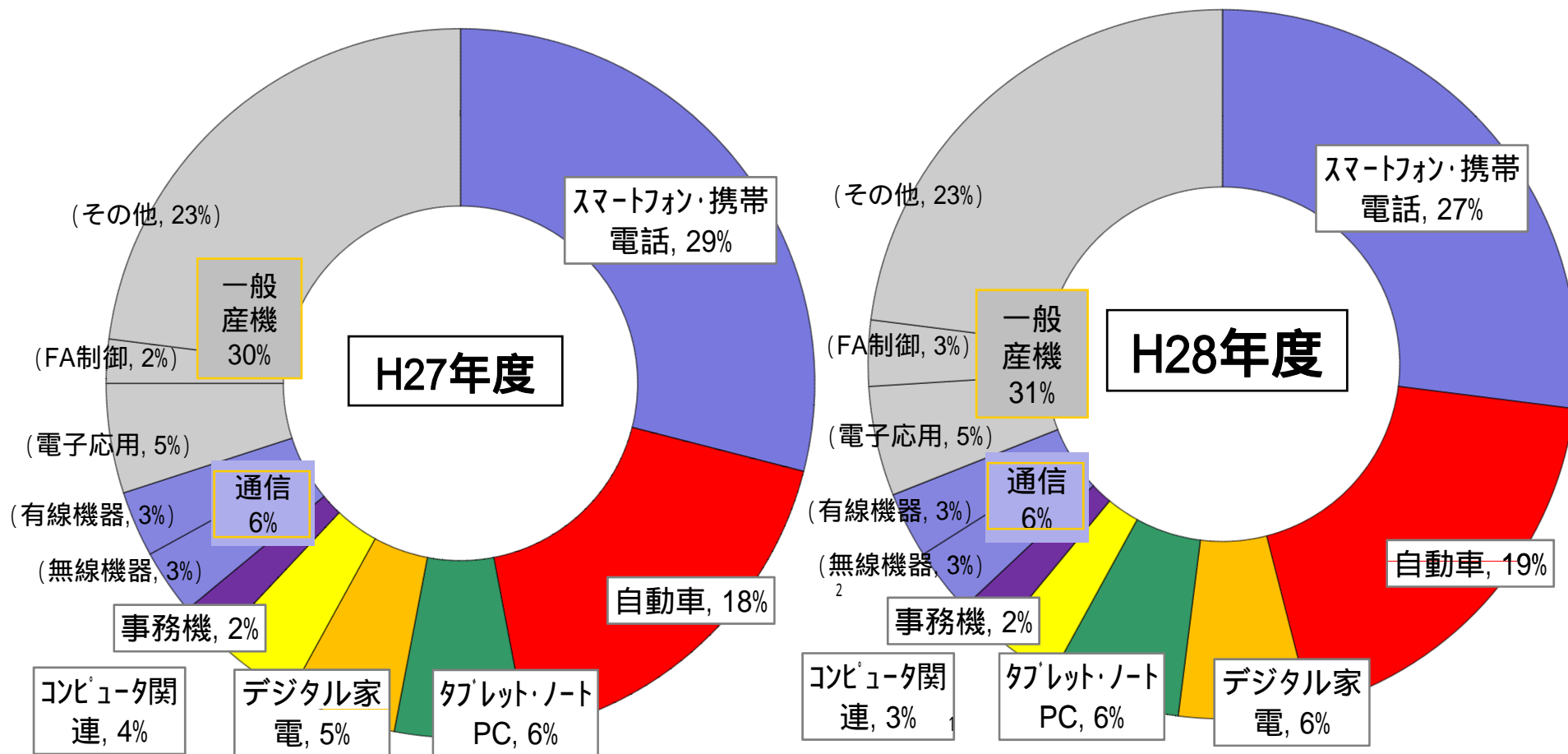


用途別構成比は概数により実際との誤差の可能性あることをご承知願います。

1通信機器・・・スマートフォン・携帯電話を除く通信機器

2コンピュータ関連・・・タブレット・ノートPCを除くコンピュータ関連機器

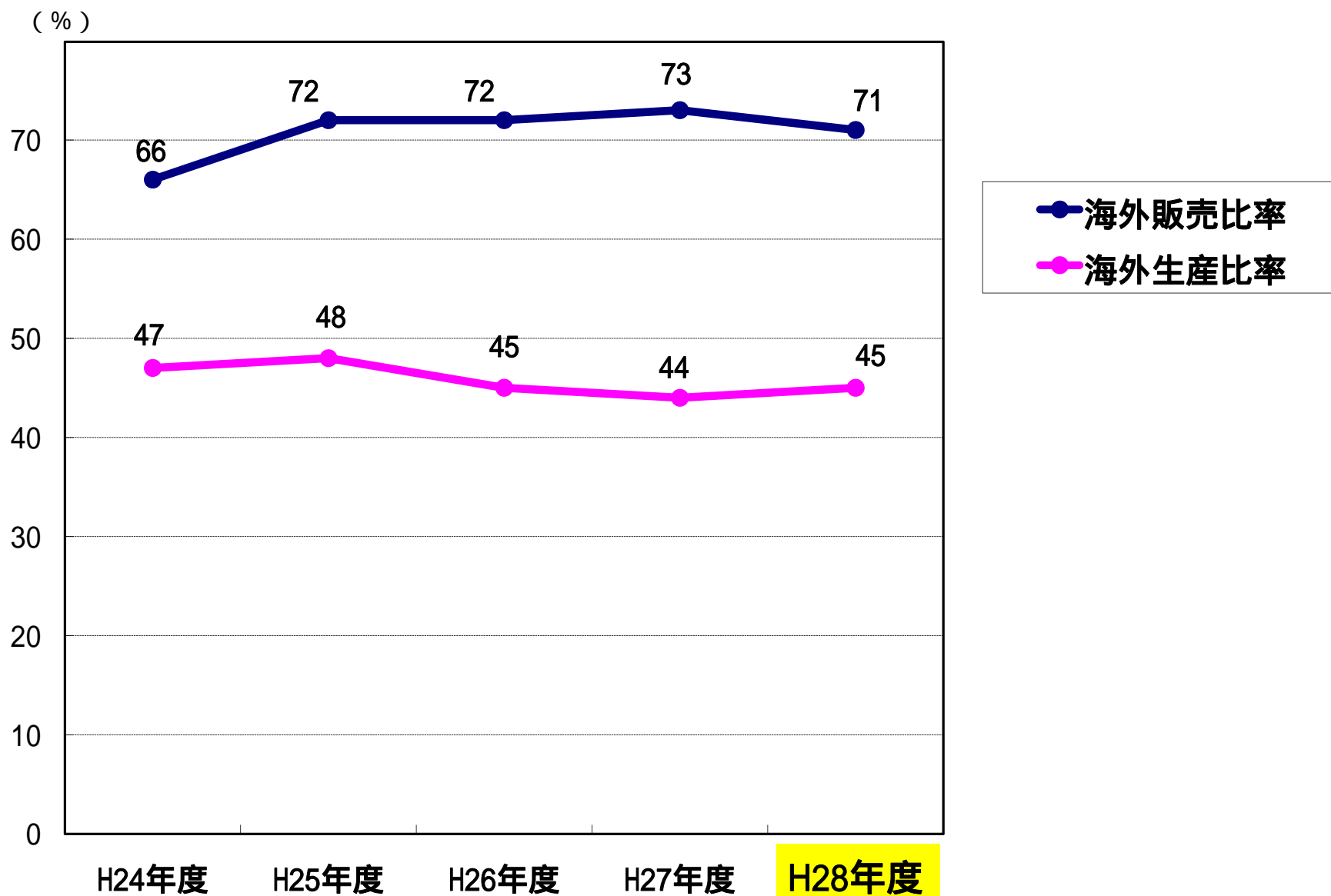
コネクタ用途別売上構成比(概数)〔連結ベース〕



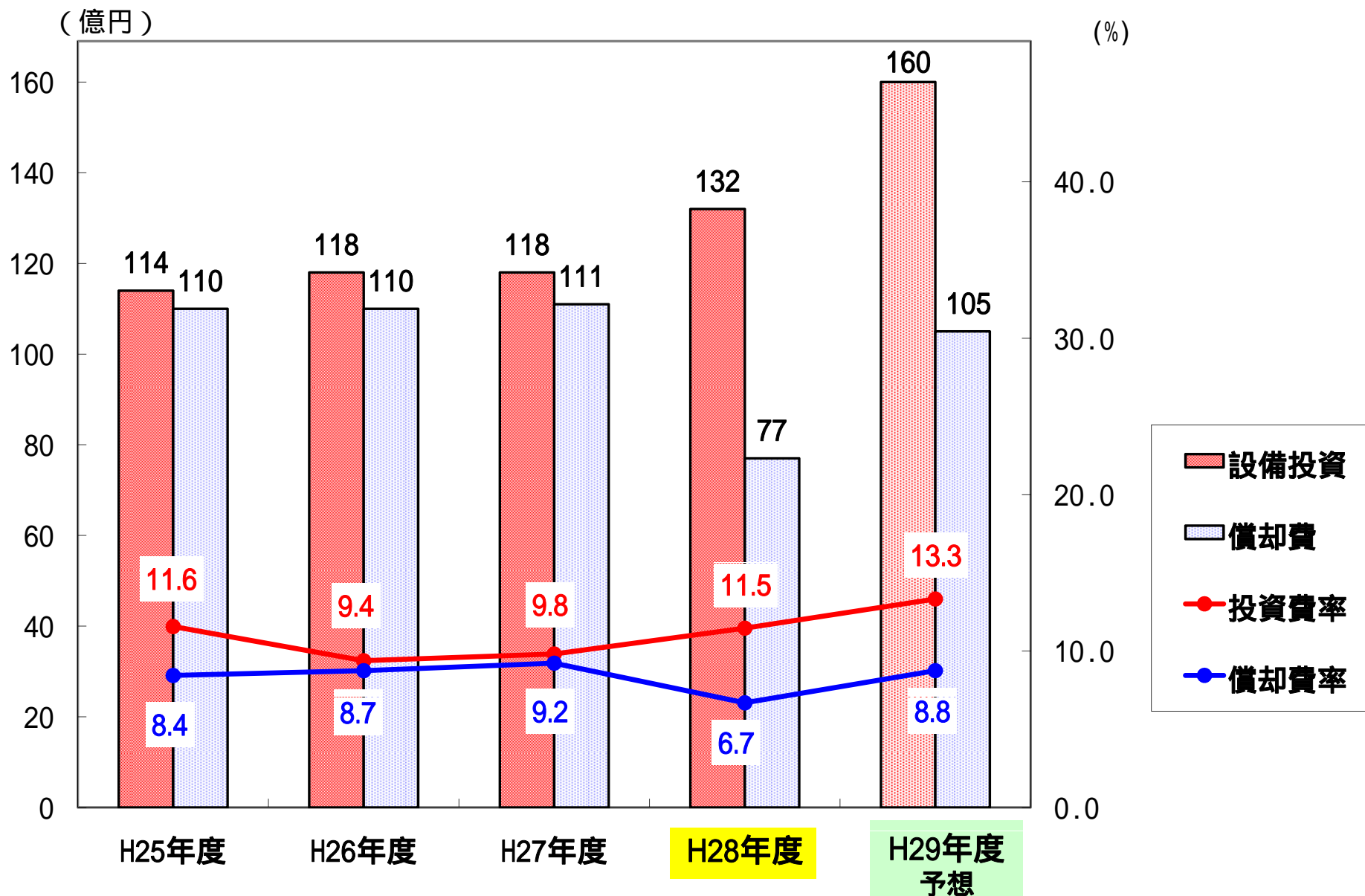
〔用途別構成比は概数により実際との誤差の可能性があるのでご承知願います。〕

1 コンピュータ関連・・・タブレット・ノートPCを除くコンピュータ関連機器
 2 無線機器・・・スマートフォン・携帯電話を除く無線通信機器

海外生産比率・海外販売比率 推移

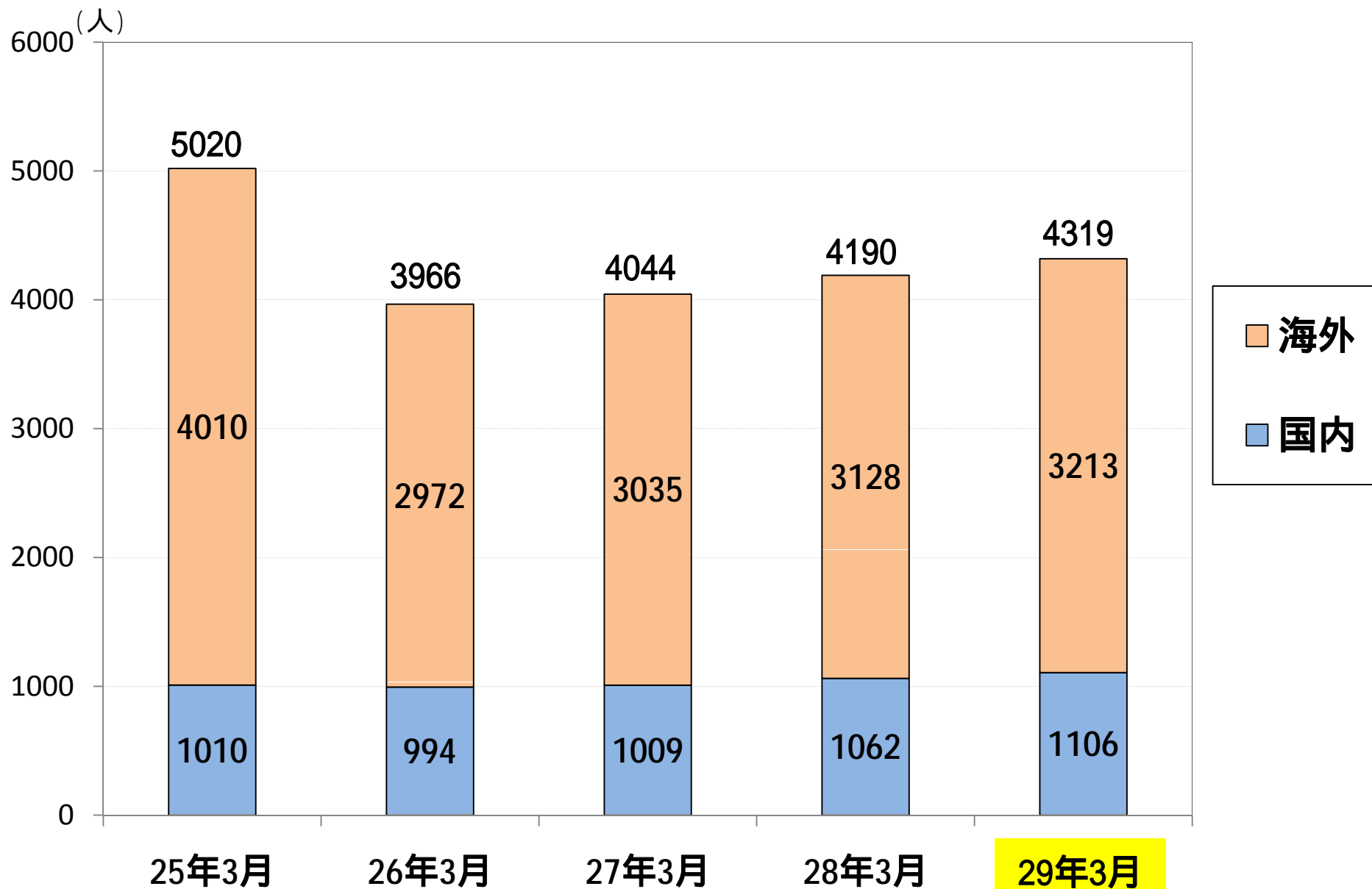


設備投資・償却費 推移 (連結ベース)

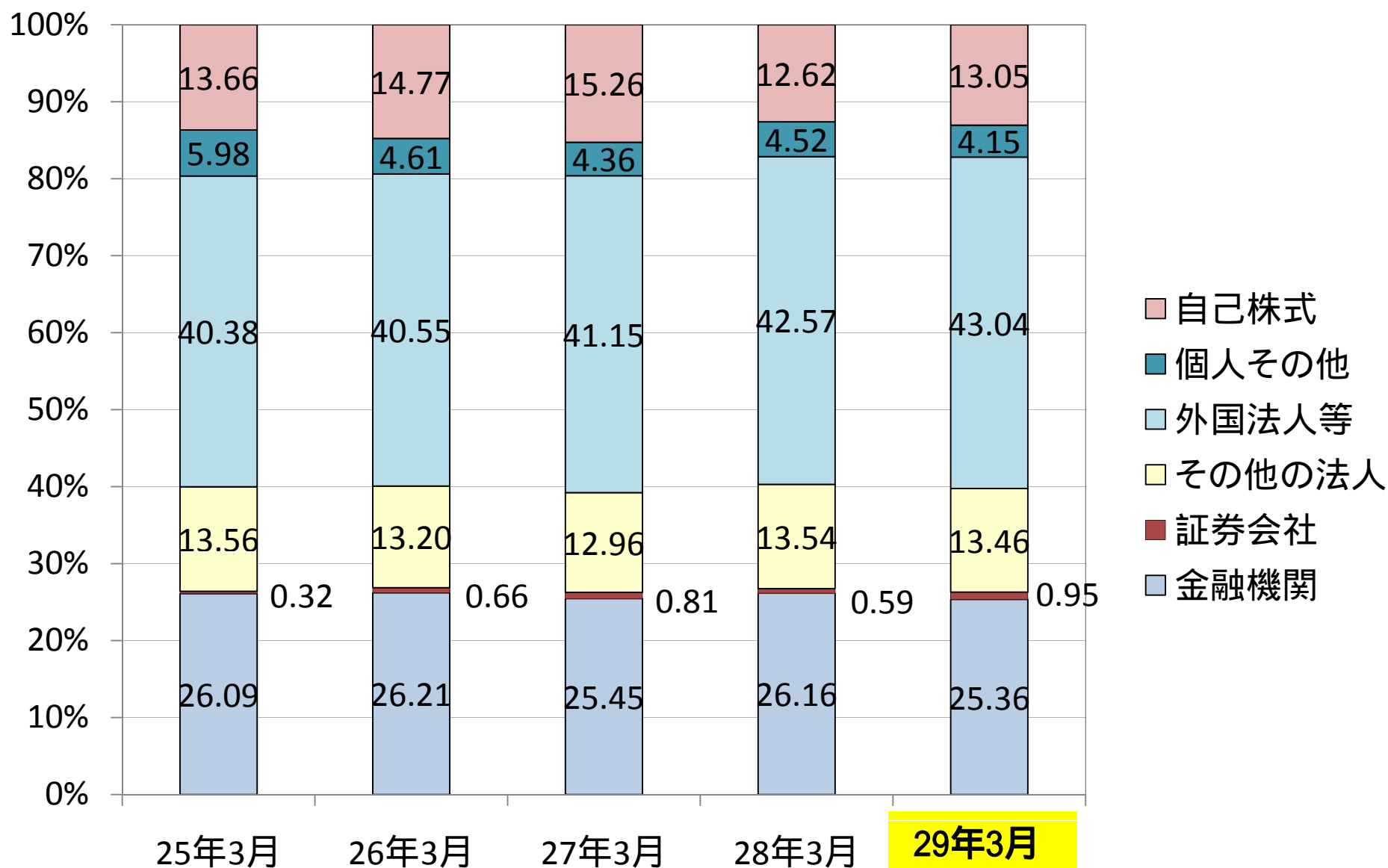


(除く 土地・建物・ソフトウェア投資)

従業員数 推移 (有報ベース)



株式分布推移



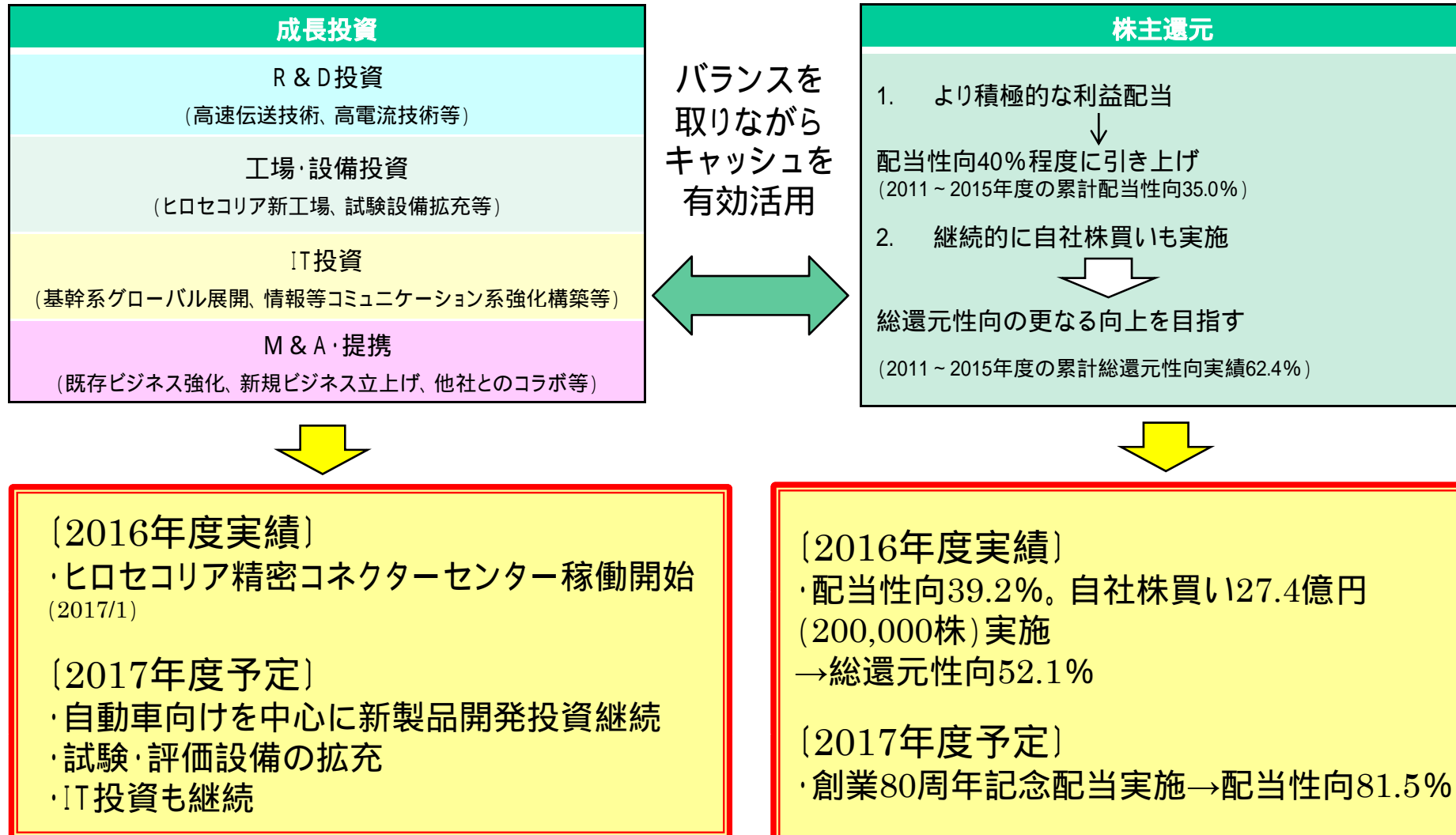
H30年3月期 業績予想(連結)

(金額単位：億円)

	H28年度(H29/3月期)予想		H29年度(H30/3月期)予想		第2四半期累計 対前年実績		通期 対前年実績													
	第2四半期累計	通期	第2四半期累計	通期	増減額	増減率	増減額	増減率												
売上高 (売上原価率)	571.8 (53.4%)	1,151.0 (53.1%)	600.0 (53.4%)	1,200.0 (53.4%)	28.2	4.9%	49.0	4.3%												
営業利益 (%)	142.9 25.0%	284.8 24.7%	142.0 23.7%	283.0 23.6%	-0.9	-0.6%	-1.8	-0.6%												
経常利益 (%)	143.6 25.1%	298.0 25.9%	146.0 24.3%	293.0 24.4%	2.4	1.7%	-5.0	-1.7%												
当期利益 (%)	101.3 17.7%	213.6 18.6%	102.0 17.0%	205.0 17.1%	0.7	0.7%	-8.6	-4.0%												
一株当り当期利益	-	611.81円	-	589.14円	<table border="1"> <thead> <tr> <th>【為替レート】</th> <th>H28年度実績</th> <th>H29年度予想</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1US\$</td> <td>108.38円</td> <td>110.00円</td> </tr> <tr> <td>1€</td> <td>118.79円</td> <td>120.00円</td> </tr> <tr> <td>100円</td> <td>9.45円</td> <td>9.80円</td> </tr> </tbody> </table>				【為替レート】	H28年度実績	H29年度予想	1US\$	108.38円	110.00円	1€	118.79円	120.00円	100円	9.45円	9.80円
【為替レート】	H28年度実績	H29年度予想																		
1US\$	108.38円	110.00円																		
1€	118.79円	120.00円																		
100円	9.45円	9.80円																		
一株当り配当	120円	240円	240円	480円																
連結配当性向	-	39.2%	-	81.5%																

H29年度一株当り配当には創業80周年記念配当(年間240円/株)を含みます

キャッシュの活用は、今後の中期的な成長戦略に基づく投資を優先させた上で、株主還元の更なる充実を目指していきます



1. 取締役

役名・職名	氏名
代表取締役社長	石井 和徳(再任)
常務取締役 技術本部長 兼 製作本部管掌	中村 充男(再任)
常務取締役 営業本部長	近藤 真(再任)
取締役 管理本部長	飯塚 和幸(再任)
取締役 技術本部 副本部長	岡野 広明(再任)
取締役 製作本部長 兼 品質管理部管掌	桐谷 幸雄(再任)
社外取締役	堀田 健介(再任)
社外取締役	元永 徹司(新任)

(1) 社外取締役2名体制と致します。

(2) 取締役任期を1年と致します(従来2年)

2. 監査役

役名・職名	氏名
常勤監査役	千葉 良一
社外監査役	杉島 光一
社外監査役	瀬下 明
社外監査役	三浦 健太郎

“2017”中期成長戦略と重点施策について

2017, May 9th

ヒロセ電機株式会社

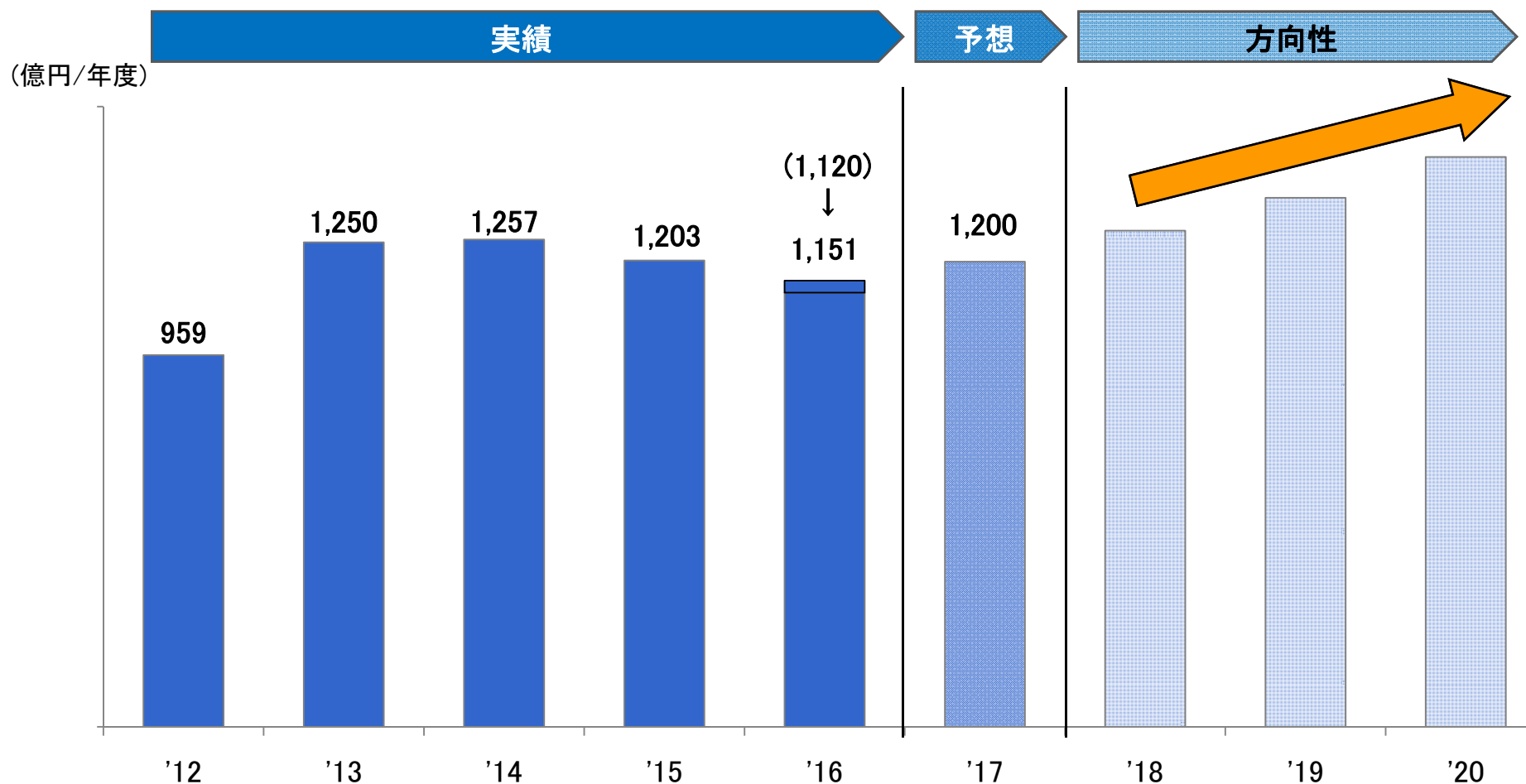
社長 石井 和徳

注意事項

本資料には、ヒロセ電機の現時点における予測に基づく記述が含まれています。

これら将来に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性その他の要因が内在しており、当社における実際の業績と異なる恐れがあります。ご承知おき下さい。

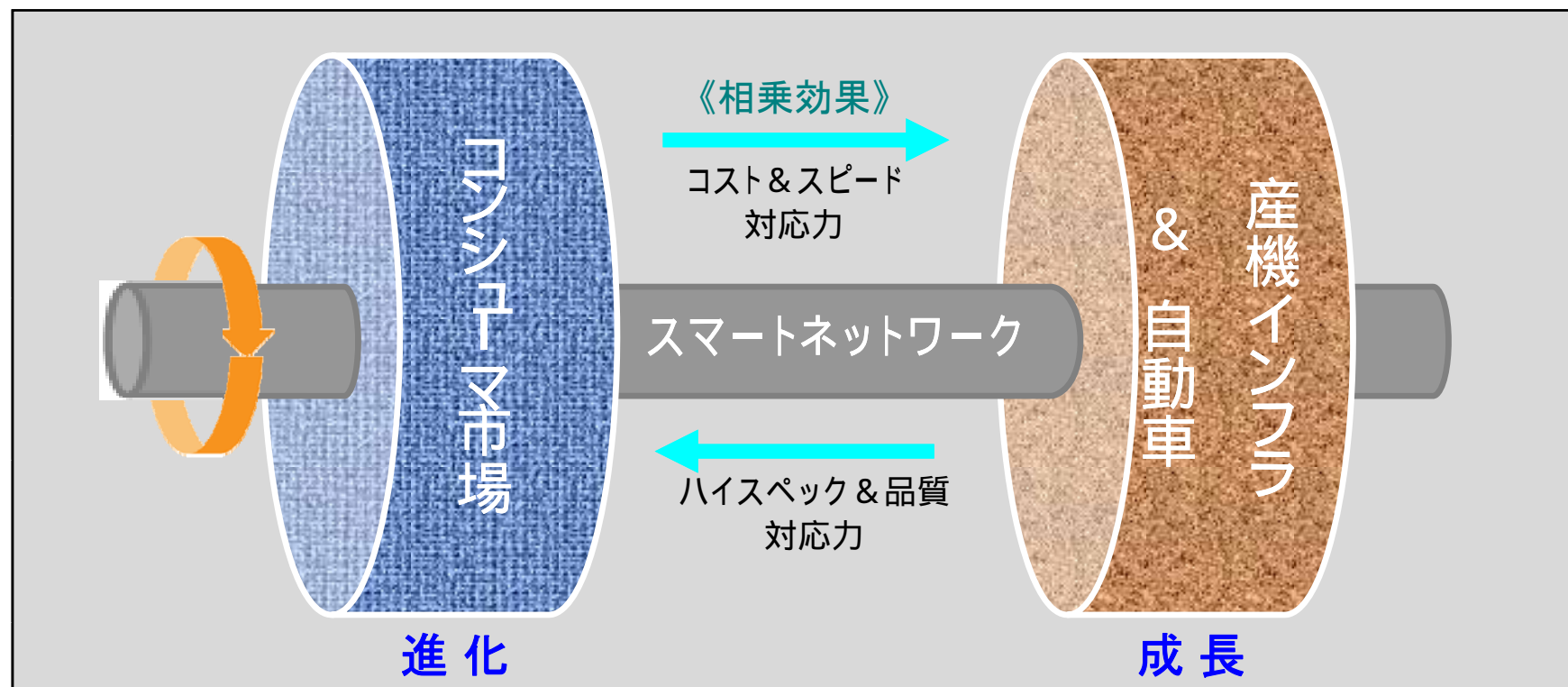
高収益経営を維持し中期的に売上成長



--- → 2016年マイナス成長予想をボトムに価値ある継続成長へ

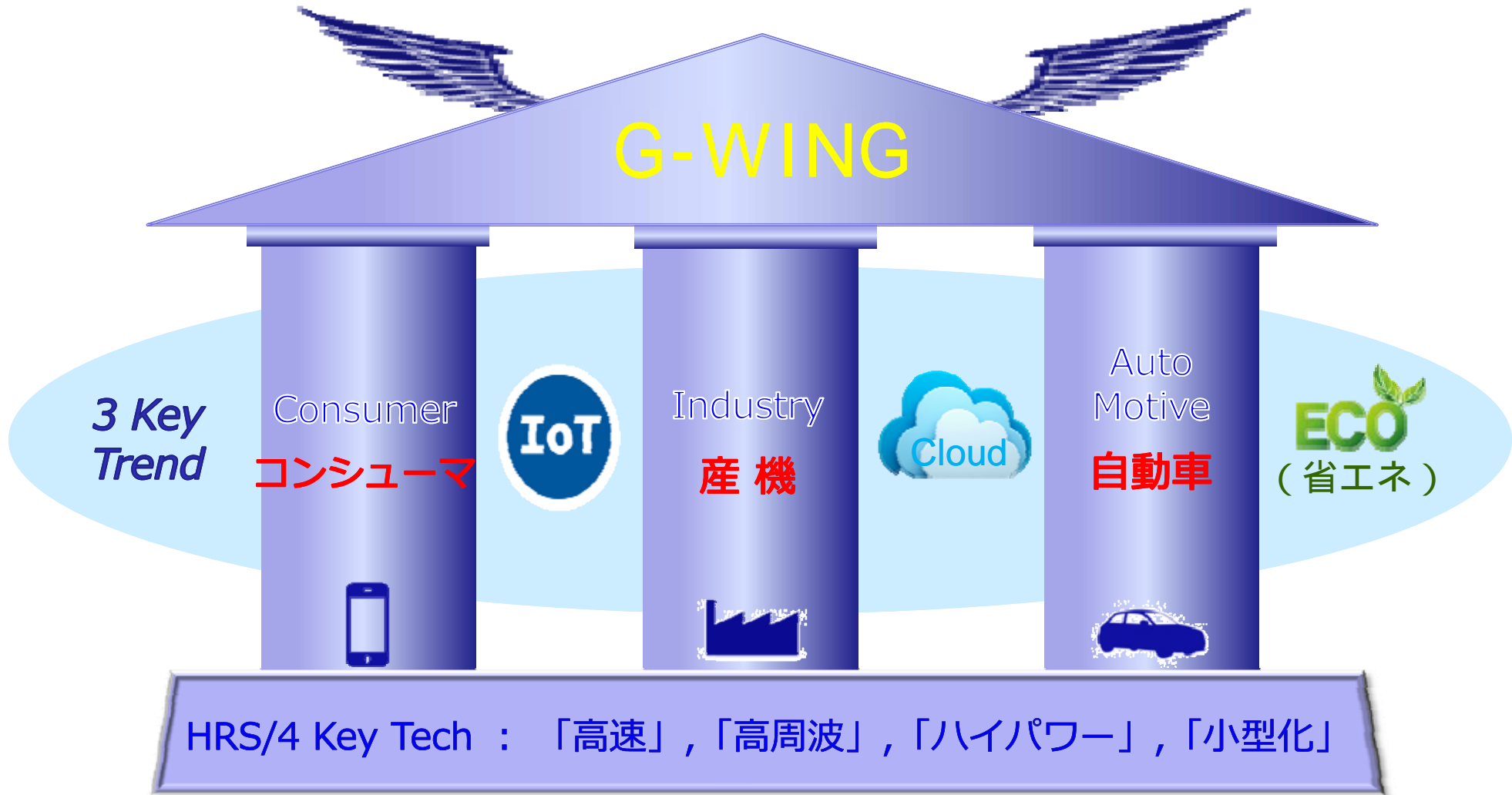
〈プラス〉 より実感ある中期計画 ⇨ さらに次なる展開へつなぐ

基本的な方向性



→ [進化: コンシューマ] & [成長: 自動車、産機インフラ] の両輪で継続成長!

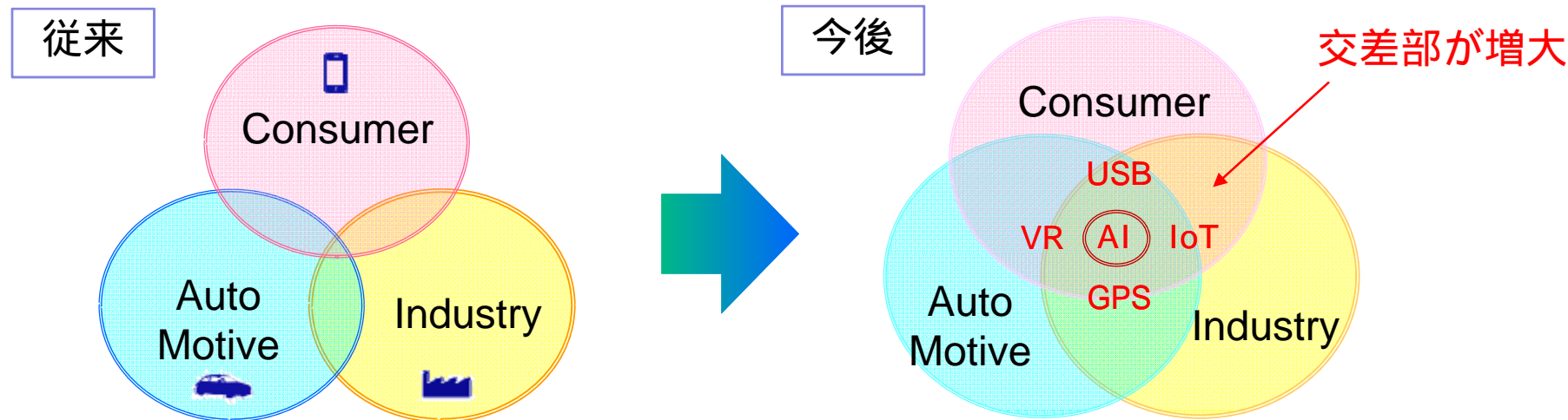
中期計画 Rev-



力強い3本柱を形成し、中計G - W I N Gを達成する

各分野の技術の融合から大競争時代へ

注力する主要3分野の技術融合イメージ



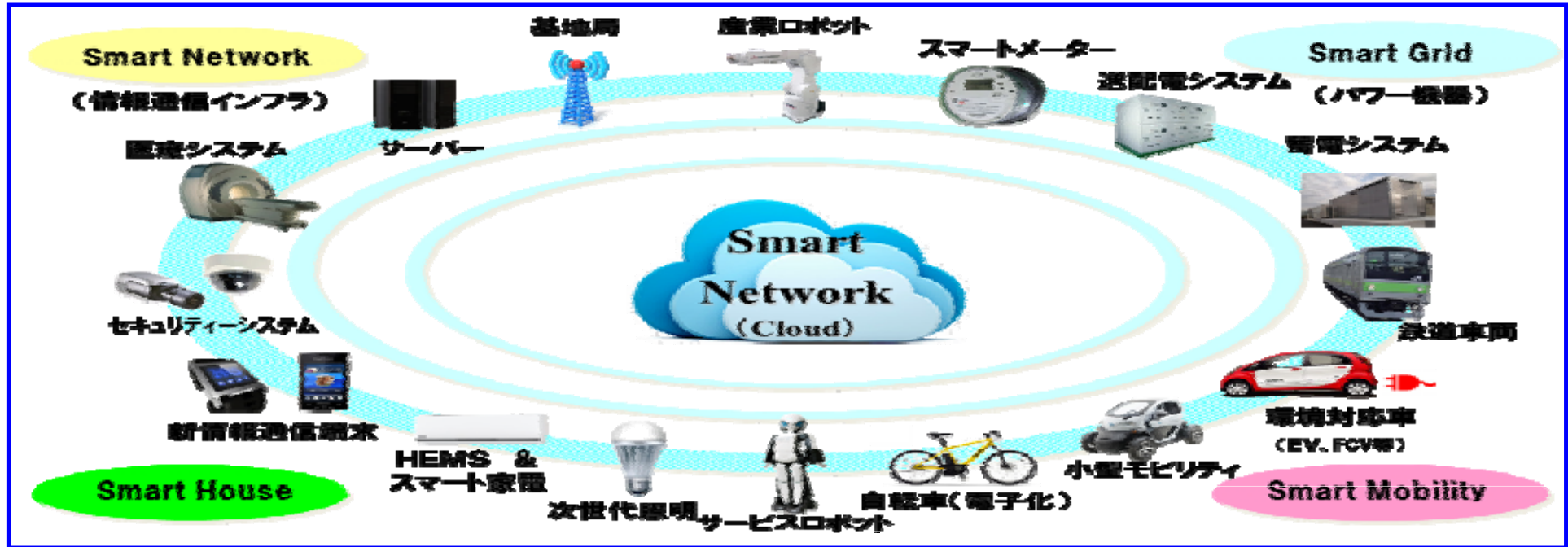
各分野の発展・拡大 ~ 各々で進化した技術が融合 ~ そして更に進化

業界の垣根がどんどん低下 ⇨ 互いの分野への参入が活発化

① 繋ぐビジネス 拡大への期待感大

② 市場・お客様のHRSへの期待：積極的な分野横断・融合の提案

5 HRS: 将来への戦略投資について〈再掲〉



[キーワード]: 「IoT(全てが繋がる世界)」「クラウドロニクス」「ECO(省電力)」

[キーテクノロジー]: 「高速」、「高周波」、「ハイパワー」、「小型化」への取組み強化

戦略投資

技術開発	工場・設備	ITインフラ
◆高速、高周波伝送技術	◆国内外工場の増強	◆各種基幹システムの強化
◆高電流、耐環境技術	◆超精密加工設備	◆コミュニケーションシステムの充実
◆金型加工技術、めっき技術	◆自動車/産機向け試験・評価設備	◆意思決定支援システムの整備

HIROSE KOREA (新) 精密コネクタセンター

一関 試験センター増築



2017年1月 稼働



完成イメージ

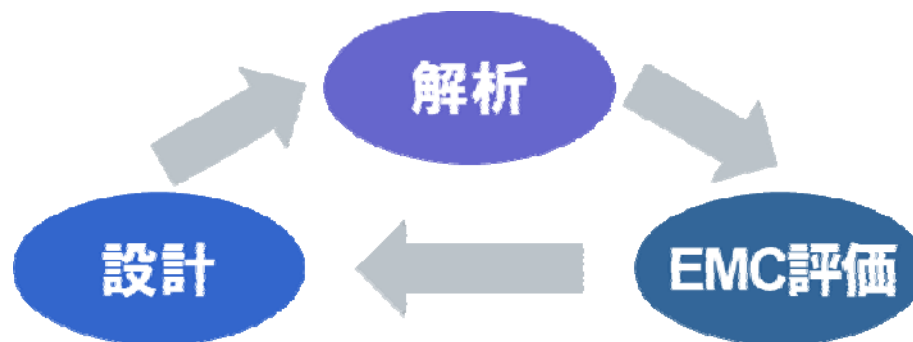
2017年度内に稼働予定

2017年4月 横浜センターにEMC試験室(電波暗室、シールドルーム)を開設

電波暗室



シールドルーム



解析技術と融合させることで「設計品質」と「開発スピード」の向上につなげる



昨年、9月15日・16日(東京)、11月16日・17日(大阪)にて開催。
皆様のおかげで 前回比140%、6500余名の来場者をお迎えることが
出来ました。皆様のお声を 未来プロダクトに展開して参ります。

本社 1989完成(東京)



東北ヒロセ電機(宮古) 1974



横浜センター 2011完成(横浜)



一関ヒロセ電機 1994



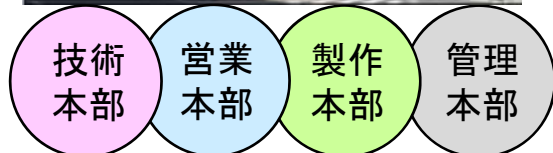
中部営業所(刈谷) 2017年3月移転

関西支店(大阪) 1977

北関東営業所(宇都宮) 2015

郡山ヒロセ電機 1982

西日本営業所(広島) 2017年7月予定



開発と営業を集約した
新社屋「横浜センター」
2011年11月開設



中国

営業所: 深川2003、北京2010



上海2001
(品管含む)



精密コネクタセンター
2017年1月稼働

蘇州2007



韓国 (始興)1985

東莞2000



台湾
(台北)1987



インド
ヒロセ インディア
2016年12月設立
(バンガロール) 2011
(デリー)2012



マレーシア 1989
(ペナン)2012

香港 1999



- 営業所
- 工場
- R & D

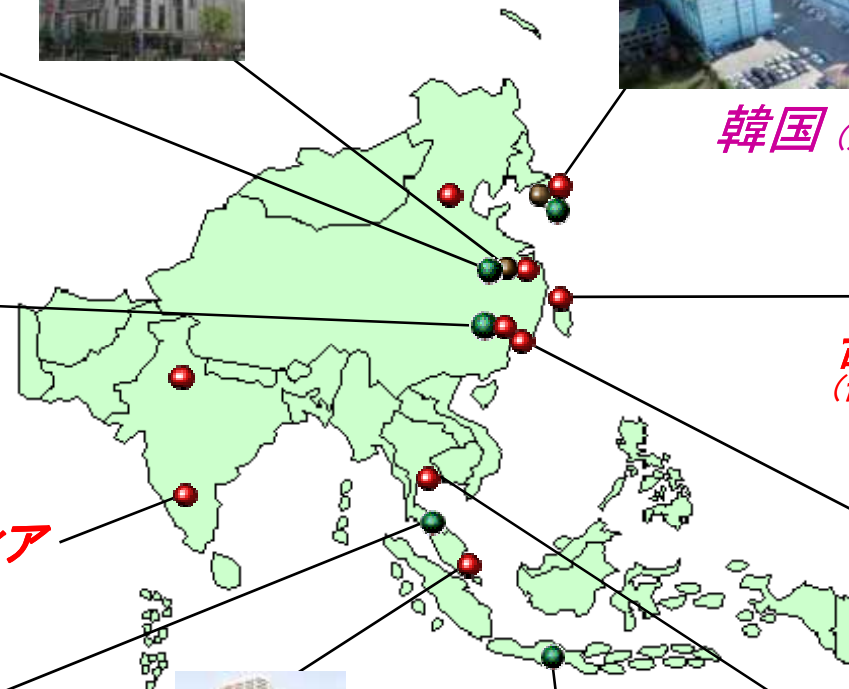


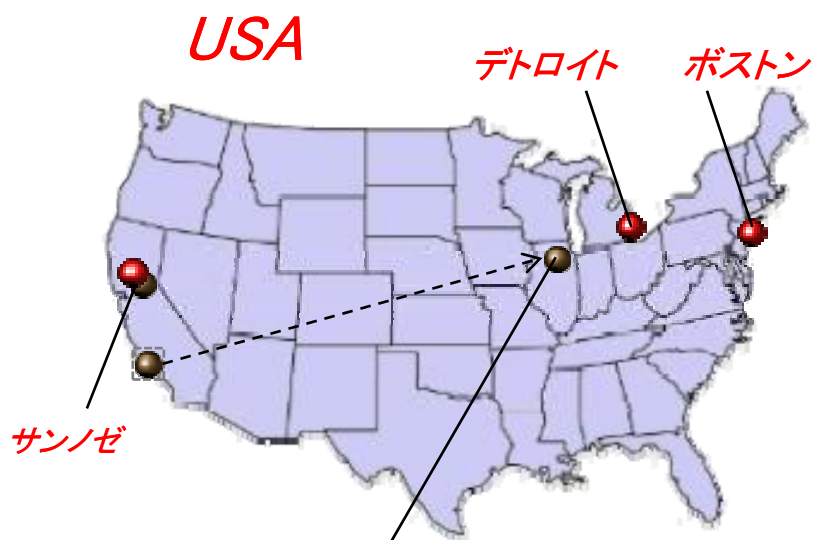
シンガポール 1995



インドネシア 1995

タイ(バンコク)2015





シカゴ US HEADQUARTER
(シミバレーより移転 2016)



フィンランド (タンペレ) 2008

オランダ (アムステルダム) 1999



フランス (パリ) 2014

ドイツ (シュトゥットガルト) 1988
(ハノーバー) 2014
(ニュルンベルグ) 2014

イギリス (ミルトンキーンズ) 1988



- 営業所
- R & D

<<<創業80周年：2017(H29)年>>>

➤ 『G-WING』達成へパワーUPを図る

- 1 モノづくり力の探究
- 2 技術開発力の強化
- 3 Global対応力の加速



➤ 『80⇒100周年』に向けて、「HRSの来たる飛躍」を実行・加速させる1年とする